

平成25年度

笠間市成人式

1月12日(日)、平成25年度の成人式がパークスガーデンプレイス(旭町)で行われました。

今回、笠間市で成人を迎えたのは平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた779名。そのうちの657名が色鮮やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包んで式典に臨み、大人への第一歩を踏み出しました。

式典では、山口市長の式辞をはじめ市議会議長や県議会議員から

の祝辞が贈られた後、新成人代表の小嶋美志さん、鈴木拓也さんが誓いの言葉を読み上げ、二十歳の決意を新たにしました。

式典終了後には、笠間の特産品である笠間焼マグカップなどの賞品が多数用意された抽選会が行われ、自分の番号が読み上げられると歓声が起こりました。

また、恩師を交えた記念写真撮影を行ったほか、久しぶりに会う仲間たちと旧交を温め、お互いに近況報告や写真を撮り合うなど、会場は終始和やかな空気に包まれていました。



1 晴れやかな笑顔で記念撮影 2 新成人代表の二人による誓いの言葉 3 成人式実行委員の進行による大抽選会 4 恩師を交えて記念撮影 5 同級生と久しぶりの再会

陶に親しむ 2

茨城県陶芸美術館の所蔵品から

前田昭博 (一九五四—)

白瓷面取壺 二〇〇〇年

「夜のうちに降り積もった雪が、朝の光を浴び、眩しいくらいに輝き眼前を覆い尽くす」茨城県ではこのような景色はあまり見ることとは出来ませんが、昨年重要無形文化財「白磁」保持者(人間国宝)に認定された前田昭博の郷里である鳥取県は、日本海に面しており、冬は辺り一面真っ白な雪に覆われるといいます。

本作「白瓷面取壺」には、そのような作家の原風景が映し出されているようです。前田は「面取」



「白瓷面取壺」平成12年(2000) 高37.3×胴径36.1cm

本作「白瓷面取壺」には、その用い「白瓷」と題する事にも、温もりある独自の白瓷を創造するという作家の意志が示されています。

白磁と面取によって構成される、光と影が精妙に絡み合う端正な造形。一見シンプルに見える作品には、真摯に自身の感性と向き合う作家の精神性が豊かに表されています。

(茨城県陶芸美術館学芸課 宮本梨衣) ※展示は五月二十五日(日)まで